

JASS 18 M-111

水性グリーンボーセイ 速乾

鉛・クロムフリーさび止めペイント



地球に優しい水性さび止め塗料

大日本塗料株式会社

高い防食性能を誇る水系さび止め

近年、各種規格（JIS規格や公共建築工事標準仕様書など）の改訂も含め、環境負荷低減（鉛・クロムフリー化、VOC削減など）が強く求められています。このような背景から、「水系（低VOC）」「鉛・クロムフリー」で、より高い性能を追求したのが、地球に優しい水性さび止め塗料「水性グリーンボーセイ 速乾」です。

特長

- 1) JIS K 5674 1種（溶剤系）と同等の防食性能
- 2) 溶剤形塗料と比べVOCを約80%削減
- 3) 非危険物のため、貯蔵量に制限がない
- 4) 水性のため、臭気が非常に少ない
- 5) 水道水で希釈のため、専用のシンナーが不要
- 6) 有害重金属（鉛・クロムなど）フリーである

上塗り適正

適用可能な上塗り		
一般名称	商品名	適用環境
つや有合成樹脂 エマルジョンペイント	DNTビューシリコン	屋内・屋外
	DNTビューウレタン	屋内・屋外
	ノボクリーンビュー	屋内
合成樹脂調合ペイント	タイコーペイントフォースター	屋内・屋外
建築用 ポリウレタン樹脂塗料	DNTウレタンスマイルクリーン	屋内・屋外

注) 他の上塗りを適用する場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

用途

- ・ 建築鉄骨
- ・ マンション鉄部（手摺り、階段など）の新設

容姿 一液性

容量 16kg

色相 赤さび色、グレー（N7.5近似色）

規格 JASS 18 M-111



水性グリーンボーセイ速乾



防食性

鉛・クロムフリーさび止めペイント

【サイクル腐食性試験 36サイクル】



溶剤形と同等の防食性を確認

【試験条件】

- 試験片：脱脂した磨き軟鋼板
- 塗料、膜厚
水性：水性グリーンボーセイ速乾 35 μ m
溶剤形：グリーンボーセイ速乾 35 μ m



塗膜性能 (JIS K 5674 2種の試験方法による社内試験)

試験項目	規格	標準性状
耐屈曲性	直径6mmの折り曲げ試験で、塗膜に割れ、はがれが認められない。	合格
サイクル腐食性	36サイクルの試験で塗膜にさび、膨れ、割れ及びはがれが認められない。	合格
防せい(錆)性	24ヶ月の暴露で、塗膜にさび、割れ、はがれ及び膨れが認められない。	合格



塗料性状

項目	内容				
容姿	一液性				
荷姿	16kg				
色相	赤さび色、グレー				
光沢	つや消し				
密度 (23°C)	塗料	1.36			
	揮発分	1.00			
加熱残分	65%				
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	指触	120分	90分	30分	20分
	半硬化	180分	120分	60分	40分
標準膜厚	35 μ m				

注) 上記、塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。



塗装基準

項目	内容				
下地処理	※脱脂処理及び動力工具処理 (ISO-St3)				
塗装方法	刷毛・ローラー、エアレス				
希釈剤	水道水				
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー	エアレス		
	希釈率	0~10%	0~10%		
	標準使用量	110g/m ² /回	150g/m ² /回		
	標準膜厚	35 μ m	35 μ m		
	ウエット管理膜厚	75 μ m	75 μ m		
エアレス塗装条件	1次圧0.4~0.5MPa (4~5kg/cm ²)				
	2次圧12~15MPa (120~150kg/cm ²)				
	チップNo.163-419				
塗装間隔	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	最小	24時間	16時間	4時間	2時間
	最大	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月

※下地処理は施工要領書を確認して下さい。

注) 標準使用量は、被塗物の形状その他諸条件により増減します。



関連法規

危険物表示	- (非危険物)
有機溶剤区分	-
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	-



標準塗装仕様

【新設】屋内鉄部(さび止め塗料仕上げ)

工程		塗料名	標準使用量 (g/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (20°C)
工場塗装	1	素地調整	公共建築工事標準仕様書「鉄鋼面の素地ごしらえC種」に従って行う。		
	2	下塗り第一層	水性グリーンボーセイ 速乾 刷毛・ローラー 110 エアレス 150	35	4時間～6ヶ月
	3	下塗り第二層	水性グリーンボーセイ 速乾 刷毛・ローラー 110 エアレス 150	35	—

【新設】屋内・屋外鉄部

工程		塗料名	標準使用量 (g/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (20°C)
工場塗装	1	素地調整	公共建築工事標準仕様書「鉄鋼面の素地ごしらえC種」に従って行う。		
	2	下塗り第一層	水性グリーンボーセイ 速乾 刷毛・ローラー 110 エアレス 150	35	4時間～6ヶ月
	3	下塗り第二層	水性グリーンボーセイ 速乾 刷毛・ローラー 110 エアレス 150	35	4時間～6ヶ月
現地塗装	4	下地調整	現地搬入後、発錆部や塗膜損傷部は動力工具や手工具にてさびなどを除去する。(発錆部の除錆度:ISO-St3以上)健全部は、汚れや付着物を除去し清浄にする。		
	5	補修塗り	鋼材露出面には、工場塗装に準じて「水性グリーンボーセイ 速乾」を塗装する。		
	6	上塗り第一層 ※1	DNTビューシリコン 刷毛・ローラー 100 エアレス 120	25～30	2時間～7日
	7	上塗り第二層 ※1	DNTビューシリコン 刷毛・ローラー 100 エアレス 120	25～30	—

【塗り替え】屋内・屋外鉄部

工程		塗料名	標準使用量 (g/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (20°C)
現地塗装	1	素地調整	公共建築改修工事標準仕様書「鉄鋼面の下地調整RB種」に従って行う。		
	2	下塗り第一層	水性グリーンボーセイ 速乾 刷毛・ローラー 110 エアレス 150	35	4時間～6ヶ月
	3	下塗り第二層	水性グリーンボーセイ 速乾 刷毛・ローラー 110 エアレス 150	35	4時間～6ヶ月
	4	上塗り第一層 ※1	DNTビューシリコン 刷毛・ローラー 100 エアレス 120	25～30	2時間～7日
	5	上塗り第二層 ※1	DNTビューシリコン 刷毛・ローラー 100 エアレス 120	25～30	—

※1 上記以外の適用可能な上塗塗料をご使用される場合は、前記「上塗り適正」を参照願います。

※ 本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

施工上の注意

- 塗料の保管は、降雨・結露・直射日光を避け、気温が50°C以上、又は0°C以下にならない場所で保管して下さい。
- 鋼材の状態により、油の量・ミルスケールの状態も様々です。浮いた、または付着性が低下したミルスケールは、動力工具や手工具(ディスクサンダー・ワイヤブラシなど)を併用して完全に除去し、清掃して下さい。
- さびが残存した面に塗装すると、点さびが発生する場合がありますので、さびの除去は入念に行ってください。
- 油分・湿気・塵埃などの有害な付着物は完全に除去して下さい。
- グリセリンなどの接触媒質・スパッタ防止液は水拭きをして除去して下さい。
- 水中部や結露が著しく生じる箇所への適用は避けて下さい。
長時間の没水状態となる箇所では膨れが生じる可能性があります。
- 以下の条件の場合には塗装作業を中止して下さい。
 - ① 天候・・・雨天、および雨天が予想される場合
 - ② 気温・・・5°C以下
 - ③ 湿度・・・75%RH以上、または被塗面が結露を生じる場合
 - ④ 被塗物温度・・・被塗物温度が50°C以上の場合
- 塗装作業は、塗膜の乾燥性を確保するために通気性を良くし、塗装部周辺の湿度上昇を抑えるようにして下さい。(例えば、送風機を用いるなど)
- エアレススプレー塗装の場合は、塗料を80メッシュの金網で濾過して下さい。
- 溶剤系塗料を使用したエアレス塗装機で塗装する際は、塗装前にアルコール系シンナー(商品名:水性塗料洗浄用シンナー)で塗装機内を洗浄して下さい。

塗装終了後、刷毛などの用具は早目に水で洗浄して下さい。固着した場合は、ラッカーシンナーなどで洗浄して下さい。エアレス塗装機は、まず水で洗浄し、その後アルコール系シンナー(商品名:水性塗料洗浄用シンナー)で洗浄して下さい。

- 11) 乾燥が速いため、刷毛が固まりやすいので、水性塗料用ナイロン製刷毛を使用して下さい。
- 12) 塗装間隔は、塗装環境(温度・湿度・換気など)や膜厚によって変動する場合があります。
- 13) 塗装後の養生は、屋根など雨が当たらない環境で行って下さい。

使用上の注意

取扱いには下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

1. 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
2. よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
3. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
4. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
5. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

1. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
2. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 容器からこぼれた時には、砂等を散布したのち処理して下さい。 ①

※本カタログに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。※本製品の内容は予告なく変更することがあります。

